

カミ アマ クサ シ

上天草市



堀江 隆臣 市長

上天草市は、穏やかな海に囲まれた大小約68の島々で構成される自治体です。1966年の天草五橋開通により、観光業をはじめとする各種産業の存立基盤となって、島々で暮らす市民の暮らしを支えています。上天草市が誕生した直後の人口は32,502人(2005年)であったのに対し、2020年には24,563人にまで減少していますが、「ナナメ上↑上天草。」を観光ブランドコンセプトに掲げ、訪問者の予想を超えてくる、ナナメ上に行く自治体を目指して様々な事業にチャレンジしています。

寄付
御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額50万円以上)
- ・感謝状贈呈
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他(寄附企業様との連携について積極的に取り組みます。)

人口

総人口……24,082人
男……11,260人
女……12,822人
世帯数……9,879世帯

人口構成比

15歳未満……10.6%
15～64歳……46.7%
65歳以上……42.6%

面積

総面積……126.94km²
農用地……11.86km²(9.3%)
森林……76.14km²(60.0%)
宅地……6.88km²(5.4%)

教育機関

小学校……11校
中学校……6校
高等学校・高専……1校
大学・専門学校他……1校

産業構造

第1次産業……6,364(8.8%)
第2次産業……9,563(13.3%)
第3次産業……56,060(77.9%)
生産総額:百万円

高等教育機関

熊本県立上天草高等学校
(普通科)



交通アクセス

■上天草市役所まで
三角大矢野道路 登立ICから……約2.2km
JR三角駅から……約7km

※データは令和3年6月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

上天草市まち・ひと・しごと創生推進計画

〈SDGs〉関連するゴール



魅力的で持続可能なまちづくり

基本
目標

1 上天草市への人の流れをつくる

豊富な地域資源を活用した観光振興の取組の強化と移住・定住による地域活性化の促進

基本
目標

2 安定した魅力ある雇用を創出する

若い世代の定住を促進させるため、市の産業を強化し魅力ある雇用を創出

基本
目標

3 市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

安心して結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい地域づくりに向けた環境の整備と安心して働くことのできる職場環境づくりを促進

基本
目標

4 魅力的な地域をつくり、安心で快適な暮らしを創出する

地域に誇りを持ち、安心して暮らせる地域コミュニティの維持を図り、各地域の実情に応じた魅力的な「まち」をつくるための基盤となる人材の育成と活躍の支援

重点
プロジェクト

島々を抱く穏やかな海とともに 生き続けるためのプロジェクト

分類 まちづくり

- 総事業費** 各年度2,000万円程度を想定 寄附目標額 —
- 計画期間** 地域再生計画の認定の日…2022年4月1日～2025年3月31日
- 数値目標** ●観光入込客数…2018年1,867,433人→2024年2,300,000人
●第一次産業就業者数 …… 2015年1,558人→2030年1335人

〈SDGs〉関連するゴール



海・島々・五橋の好循環の仕組み

2030年の本市のあるべき姿を「島々を抱く穏やかな海で自然の恵みを活かしたサスティナブルシティ」と設定し、その実現に向けてSDGsを推進しています。本プロジェクトは、①穏やかな海を維持・向上させる取組（海を守る）を行い海の資源を守りつつ、②穏やかな海の恩恵を活かす取組（海を活かす）を行い、観光産業、第一次産業及び内航海運業の振興並びに脱炭素の推進を図り、これに共感する関係人口を増加させ、並行して、③市民の生活の質（QOL）を向上させる取組（海と生きる）を行うというものです。今後、熊本天草幹線道路の熊本-大矢野間が完成し、熊本都市圏まで30分圏内となります。当該道路の完成すれば、本市の人口減少が抑制され、育成してきた人材がSDGsに取り組んでいく循環を生むようなシナリオを目指しています。

本プロジェクトで検討している主な取組は次のとおりです。

①ブルーカーボンオフセットの取組

藻場によるCO₂の吸収を通じた温室効果ガスの削減を図るため、関係団体と連携して藻場づくりを行い、温室効果ガスの削減が困難な企業などへのクレジット販売を促します。藻場によるCO₂の吸収に加えて水産資源再生にもつなげます。

②人材の育成と循環

持続する島づくりには人材育成が不可欠です。育成した人材が市内の島々で活躍し、市民へSDGsの取組を普及・啓発していく好影響の形成を目指しています。



上天草市のSDGs循環イメージ

重点
プロジェクト

官民連携で行う地域に裨益する再生可能エネルギーに 関する事業の実施・運営体制の構築

分類 産業振興

- 総事業費** 各年度1,000万円 寄附目標額 —
- 計画期間** 地域再生計画の認定の日…2022年4月1日～2025年3月31日
- 数値目標** ●温室効果ガス削減率（2013年度比）
…………… 2030年84.4% 2050年99.5%

〈SDGs〉関連するゴール

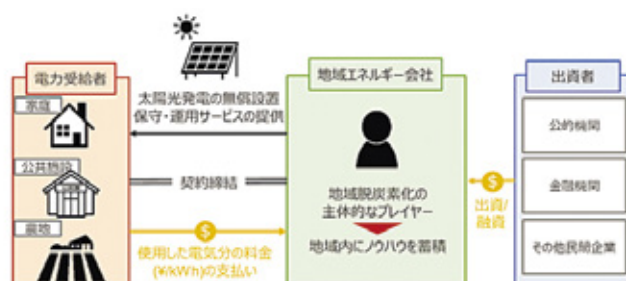


上天草版シュタットベルケの構築

地域経済活性化のためには、域外に流出している電気料金やエネルギー料金を域内に循環させる仕組みが重要であり、地域資源である再生可能エネルギーを地域エネルギー会社の設立により地産地消の形で域内循環することができれば、地域経済活性化に加えて、地域の脱炭素化にも貢献することが可能です。特に、本市においては再生可能エネルギーによる電力で石油を代替すること、いわゆる電化を実現することができれば、域外流出しているエネルギーコストを一層、削減できる可能性があります。

そこで、本プロジェクトでは、ドイツ国内の自治体が出資して水道・交通・ガス供給・電力事業等のインフラ整備・運営を行う事業者「シュタットベルケ」を参考にした上天草版シュタットベルケの構築を、まずは人口約300人の離島「湯島」で目指すこととしています。

具体的には、市や地元企業等を中心に脱炭素のための再エネ発電事業及び電気小売事業等を行う地域エネルギー会社を設立し、湯島で発電した再エネ資源を湯島内で利用することを通じて、地域経済の好循環化を目指します。



本プロジェクトで想定するビジネスモデル

課題 1 釣りによる交流人口・関係人口を拡大！



穏やかなで魚種が豊富な海

上天草は海に囲まれた土地であり、市内外から多くの釣り客が訪れる釣りのメッカとして、県内外に認知されています。

一方で、本市の釣り客はそのほとんどが、早朝に自家用車で訪れその日のうちに帰路につくものであり、多くの釣り客が訪れているにも関わらず、本市への経済波及効果が低いことが課題となっています。

そこで、市内にある釣具店、遊漁船、宿泊施設、飲食店等が連携した仕組みを構築して、本市への釣り客を増加させ、経済波及効果を高めたいと考えています。

課題 2 ワークーションによる地域の活性化

自然の中で仕事ができる場所として、観光地やリゾート地で仕事をする「ワークーション」が注目されています。

本市では、これまで観光や移住定住に向けた施策を展開していますが、依然として「働く場が無い」といった理由で、市外への流出等による人口減少が進んでいる状況です。

本市の豊かな自然や美しい景観等を生かしたアクティビティを活用しながら、「働く場」として選んでもらえるよう、ワークーションを通して、交流人口・関係人口を増やし、将来的な移住につなげていくこととしています。



上天草の景観を活かしたワークーション

課題 3 上天草の景観を活かして映画等を誘致！



本市には他にない様々な景観があります

本市では、これまで、移住や観光のプロモーション動画や短編映画の制作など、映像を活用し市外へ向けてプロモーションを実施してきました。また、短編映画を制作した際には、市内の有志で構成された実行委員会が炊き出しや地元調整などを行い、試写会と合わせた独自のイベントを実施するなど、撮影をきっかけに「まちおこし」へと繋がりました。CMや映画等のロケ誘致をさらに促進させ、上天草を好きになり、誇りに想えるシビックプライドの醸成につなげるためのフィルムコミッション事業を実施しています。

課題 4 今あるモノ・スペース・スキルで経済発展！

本市は風光明媚な景観と天草五橋を始め多くの景勝地が点在する熊本県内でも有数の観光地ですが、人口減少及び少子高齢化が急激に進行し、それに伴い、様々な課題を抱えています。

そこで、行政主導による市民サービスの向上だけでなく、市民による空間・移動・スキル・モノ等の共有（シェアリングエコノミー）を通じて、防災・地域の足の確保・観光振興・就業機会の創出・子育て支援・コミュニティなどの課題を解決し、持続可能な地域及び自治体を目指します。企業様からのご支援、ご協力をお願いします。



シェアリングエコノミー協会との連携協定

課題 5 増加する市内の空き家を活用したい！



徐々に進む本市の空き家の利活用

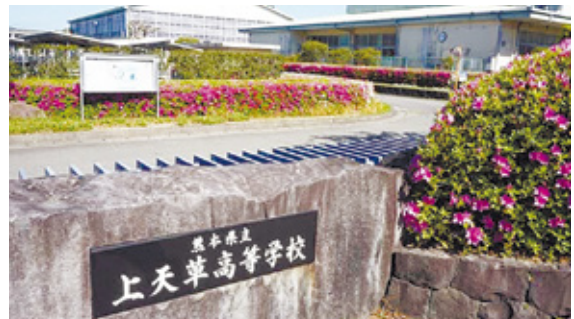
本市は、人口減少・高齢化とそれに伴う空き家の増加という課題も抱えており、空き家の利活用の推進及び移住定住の促進を目的に、平成28年度から空き家バンク制度を開始して、移住希望者への受け皿として紹介しています。

今後の空き家の発生抑制と空き家利活用のための推進体制を整備することを目的に、令和3年度には全国古民家再生協会熊本及びRsmile株式会社との三者協定を締結していますが、空き家だけでなく空いている旅館やホテルの利活用を推進しています。

課題 6 市内唯一の高校の魅力向上を図りたい！

熊本県立上天草高等学校は、県内でもまれな福祉科をはじめ、普通科、普通科グローバル文理コース、情報会計科がある市内唯一の県立高校です。

しかしながら、上天草高校への入学者数については、少子化等の影響により年々減少傾向となっており将来的な維持・存続が危ぶまれることから、今後の入学者数の減少の抑制、さらには入学者数の増加に転じるような上天草高校の魅力向上を目指しています。様々なアイデアをお待ちしております。



大矢野・松島商業・天草東が合併して創立

課題 7 住民主体のまちづくりを支援したい！



海に囲まれた地域で育つ子どもたち

上天草市では、自助自立のまちづくりの推進に向け、地域住民で構成する地域団体等が実施するまちづくりの取組のスタートアップに対する支援を実施しています。

長年まちづくりに取り組んでいるご高齢の方々や都市部から移住して地域の活性化に取り組んでいる方々が多数おられます。

上天草市では、継続して住民主体の自助自立のまちづくりを推進したいと考えています。住民主体のまちづくり推進にご支援をお願いします。

課題 8 ナナメ上↗を行く取組にチャレンジ！

天草地域の斜め上にある上天草市は、予想を裏切り、超えてくる、ナナメ上↗を行く自治体を目指し、山頂からの3絶（超絶・絶叫・絶壁）ジップライン整備など、様々な事業に取り組んでいます。

ナナメ上↗を行く取組に関するアイデアについても募集しています。



ナナメ上↗
上天草。

NANAME-UE
KAMIAMAKUSA

瞳の奥には上天草の地形が！